

# ともに成り行く道、ともに花する世界

## 東アジアから考える Human Co-becoming と Human Co-flowering

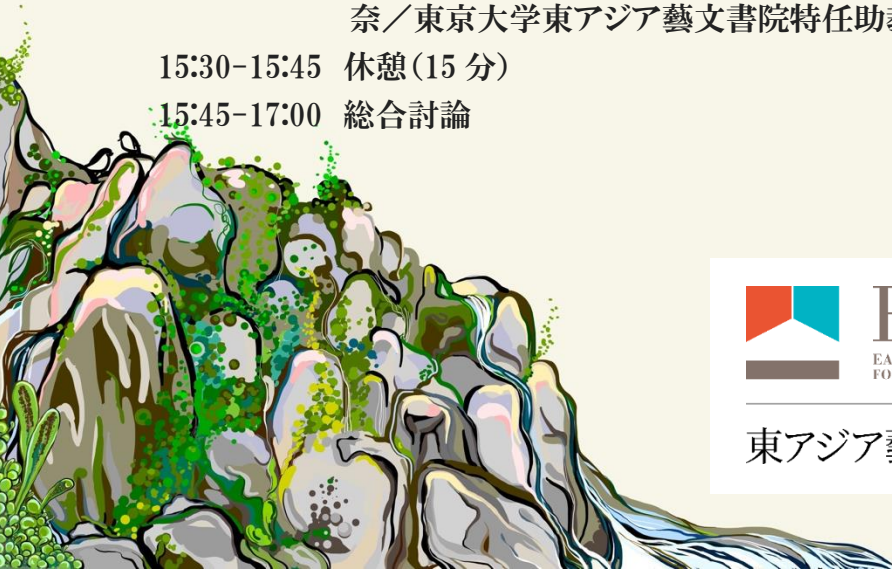
【日時】	11月26日(日)13時~16時/27日(月)14時~17時
【場所】	26日:東洋文化研究所大会議室 27日:東洋文化研究所第二会議室
【言語】	日本語
【開催方式】	対面(関係者のみ)

### 11月26日(日)

- 13:00-13:15 開会の辞:中島隆博(東京大学東洋文化研究所所長)
- 13:15-13:45 「死にのぞむ造形としての禅僧の「遺偈」:社会的・身体的な喪失といのちのかたち」  
(塚本磨充/東京大学東洋文化研究所教授)
- 13:45-14:15 「頓悟と金丹:禅宗・全真教・内丹道の目指すところ」(松下道信/皇學館大学教授)
- 14:15-15:00 休憩
- 15:00-15:30 「禅の悟りとその先:ともになりゆく道」(柳幹康/東京大学東洋文化研究所准教授)
- 15:30-16:00 「人となる第一歩としての郷党:孔子のふるまいの美学」(田中有紀/東京大学東洋文化研究所准教授)

### 11月27日(月)

- 14:00-14:30 「開発と忍びざる心:中国の「肉食大国化」にみるその相生と相克」(汪牧耘/東京大学東アジア藝文書院特任研究員)
- 14:30-15:00 「王国維『人間詞話』における人間のあり方」(丁乙/日本学術振興会外国人特別研究員)
- 15:00-15:30 「人はいかなるときに「ジンプン」を欲するのか:人文学の実践的意義を問う」(崎濱紗奈/東京大学東アジア藝文書院特任助教)
- 15:30-15:45 休憩(15分)
- 15:45-17:00 総合討論



東アジア藝文書院

UIA  
潮田総合学芸知  
イニシアティブ  
The Ushioda  
Initiative of Arts